

まつど宇宙の学校 1 回目活動レポート

6月3日(日)、「作って飛ばそう、私のミニロケット」を実施しました。児童27名(30名のうち3名欠席)と保護者、付添幼児で約70名が参加です。講師の山地雅宏さん発案のミニロケ



ミニロケットが完成



発射場(たらい)に置いて、まもなく発射!



ットを作り、打上げます。

理科教材用のバイアル瓶(フィルムケース)がロケット本体で、食器洗い用のスポンジで、ノー

ズコーンと羽をつくります。あっという間に出来上がり、お待ちかねの打上げです。バブと水を入れ、蓋をして、発射場(たらい)に置いて、ドキドキしながら、じーっと待ちます。そして、あちこちから、ぼ〜ん、ぼぼ〜ん、と勢いよくロケットが打ち上がりました。親子で楽しみながら、水の量は、本体の半分、1/3、1/4くらい、どのく

らいがいいのか、しっかり観察しながら、シートに記録してもらいました。そして、空中でロケットを発射すると飛んでいくのだろうか?との問いかけに、それぞれが答えを予想しながら、講師の実演を見ました。空中でもロケットは飛ぶ、作用反作用のお話をききました。保護者の皆さんも、各班ごとにリーダー、サブリーダーを決めてもらい、ロケット打ち上げの際、覗きこまないように、見守ってもらったり、水を入れる担当をしてもらったりと、いろいろ参加です。

最後は、この夏、火星大接近が話題になってくるので、岩上洋子さんが、火星と地球が接近する訳を、子ども達に太陽、地球、火星になってもらい、公転周期のお話をしながら、軌道上を歩いてもらい、体感しました。



講師の山地さんがミニロケットの飛び仕組みと作り方を説明



空中発射実験